

14 ウツボで地産地消プロジェクト

「海のギャング」で商品開発！

ウツボで地産地消プロジェクトでは商品開発の方法やプロセスを学ぶことができます。学生が主体となって、企業様とミーティングを行ったり、ときには企業に訪問させていただいたり、学内では経験できないような貴重な体験ができます。また、活動の主軸がグループ単位となるので、協調性やコミュニケーション能力を身につけることができます。

メンバー数：7名
活動場所：南伊勢町
実施主体：みえ食の“人財”育成プラットフォーム事務局
(三重県雇用経済部県産品振興課)
担当教員：藤井 恭子(現代日本社会学部)
活動年度：R05



月別活動

- 4月19日 全体ミーティング
- 5月 8日 グループミーティング
20日 唐揚げ試作
31日 全体ミーティング
- 6月 7日 グループミーティング
21日 全体ミーティング
- 7月12日 グループミーティング
19日 全体ミーティング
- 10月 4日 全体ミーティング
11日 グループミーティング
28日 倉蔭祭での販売1日目
29日 倉蔭祭での販売2日目
- 11月 8日 全体ミーティング
30日 南伊勢町での委託販売
- 12月 3日 「松阪映画の日」での販売
6日 グループミーティング
13日 全体ミーティング
19日 三重県庁での販売
- 1月 6日 「シェフの手作り弁当コロレ
宇治山田駅店」に販売
21日 グループミーティング

1年の活動まとめ・考察(成果と課題)

●成果

5種類の味(サラダ味・しょうゆ味・黒こしょう味・あおさサラダ・あおさしょうゆ味)からなる「うつぼあられ」を開発しました。その後、1個250円、5個セット1,000円で、①倉蔭祭での販売(570袋販売)、②「松阪映画の日」の農業屋コミュニティ文化センターでの販売(120袋販売)、③南伊勢町での委託販売(100袋)、④三重県庁での販売(456袋販売)、⑤「シェフの手作り弁当コロレ宇治山田駅店」の福袋用としての販売(50袋)、をおこないました。それ以外にも、⑥個人へも販売しました(100袋)。

●課題

開発した「うつぼあられ」をどのような場所で、どのようなふう販売するのか、そのマーケティング戦略を考える必要があると感じました。さらに「うつぼ」のメリットを全面的に押し出し、他社のあられと比較し、購入意欲がわく工夫を施したり、あられの需要が高い販売場所を探して販売を行うなどが対策として挙げられます。また、既存商品の売り上げ拡大だけでなく、新たな商品の開発も同時並行で行っていく必要があると感じました。

活動を通して学んだこと

活動を通して学んだことは大きく二つあります。一つ目は「商品開発のプロセス、その難しさ」です。商品案を出してから、ミーティングを繰り返し、利益や需要と供給を常に考えながら、価格設定やパッケージ作成などのマーケティングをおこないました。普段大学で学ぶことよりもレベルは高く、難しかったのですが、その分、商品を開発した時、商品が売れたときの達成感は大いものでした。二つ目は「協調性とコミュニケーション力」です。学生間だけでなく、企業様方とお話しさせていただく機会がありましたので、とても良い刺激となりました。また、グループ活動を通して、常にコミュニケーションをとりながら、作業を円滑に取り組むことができました。

実施主体からのコメント

みえ食の“人財”育成プラットフォーム事務局
ご担当者様

当事業は、みえ食の“人財”育成プラットフォーム(※)が実施している「みえ食の“人財”育成プラットフォーム産学連携事業」の一環としても活動していただいています。

今年度は昨年度に引き続き、南伊勢町の(有)山藤様と低利用魚の「うつぼ」を使った商品開発に取り組んでいただき、10月末には初めての開発商品である「うつぼあられ」が完成しました。念入りにミーティングをしていただき、活動内容を決めていただきました。学生主体で商品企画から販売まで実施し、利益を挙げられたことは頼もしく思います。

引き続き、みえの食の魅力発信にご協力いただけますと幸いです。

(※)みえ食の“人財”育成プラットフォーム 県内の食品関連産業事業者や団体、大学・高校などの教育機関、三重県など、食に関する産学官が連携して、みえの食の将来を担う人材育成・確保を目的に取り組む組織として、令和2年4月に設立。



担当教員より

現代日本社会学部 藤井 恭子

「ウツボで地産地消プロジェクト」は、今年度からCLLとして開始されましたが、実は前年度に先輩たちが立ち上げたプロジェクトです。先輩たちが試行錯誤し、新メンバーが案をブラッシュアップ、さらに多くの方々が温かく支援して下さいましたことで、商品化することができました。この結びつきを大切にしながら、次年度もさらに進化してもらえたらと思います。今後の展開を楽しみにしています。

📢 こんな人におすすめ！

- ・「食」に関する商品開発に興味がある人
- ・協調性やコミュニケーション能力を磨きたい人
- ・マーケティングを学びたい人。

成果物 / 制作物

